

ニュートラリゼーション（イエローコーション）通知 ※デジタルフラッグを併用使用します

レース中、赤旗の対処まではいかないと判断した場合、ニュートラリゼーション（イエローコーション）が発動されます！

すべてのフラッグポストからデジタルイエローフラッグが点滅されると同時に、SLOWボードが提示され、コース上はニュートラリゼーションとなります。※従来通り、コースオフィシャルが各旗を手に持って振動や静止で知らせるこも併用します。この場合レース中の選手は、トップを走っているドライバーを先頭に1列の隊列で周回をかさねます。

※解除されるまで1列の走行が続きます---この場合先頭集団は、スピードを出しすぎないように注意をはらうこと！

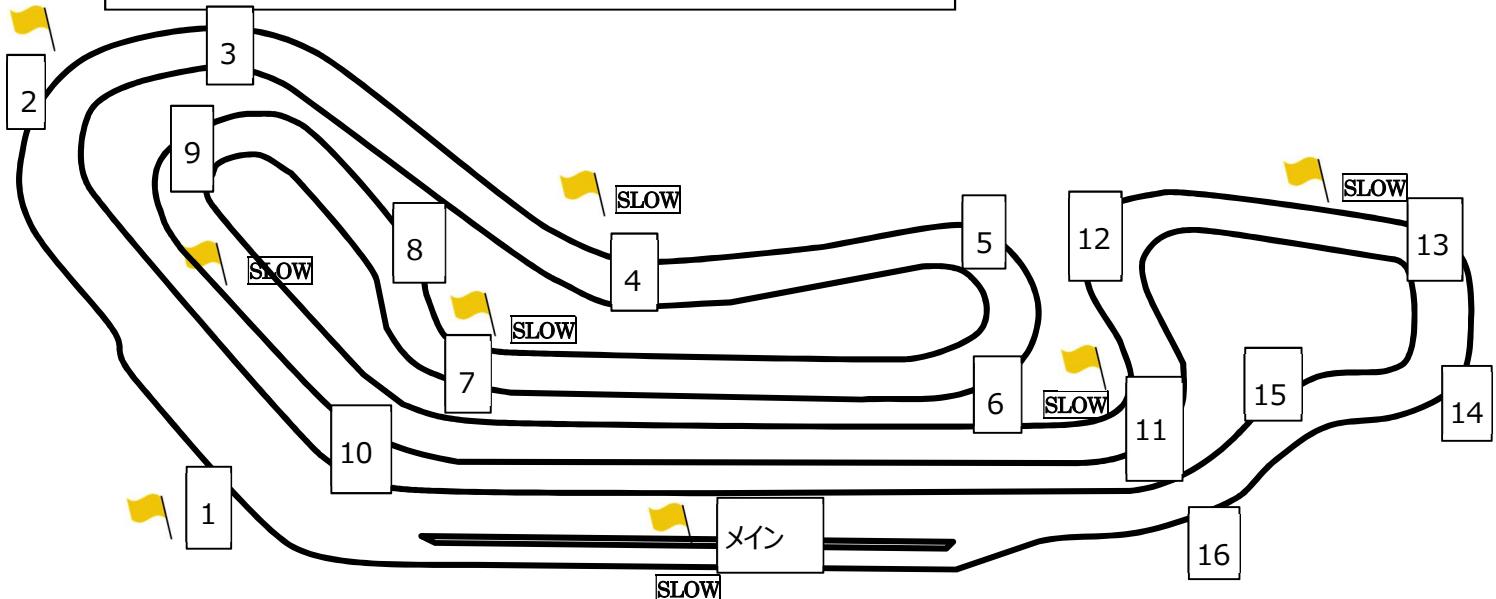
また、1列隊列走行中のラップも競技時間（周回数）としてカウントされます。このままニュートラリゼーションが続きレースが終了になる場合もあります。注）レースの競技時間満了後のラスト1周ボードは提示されます

状況によっては、解除されず赤旗提示に変わる場合もあります。その時点で、レース成立規定時間（レース成立周回数）に達していればレース終了になります。「ただし赤旗になった場合は、赤旗通知の対処になりますのでご注意ください」

下図のように対応しますので、円滑な競技再開に向け、各ドライバーは、ドライバーサイン、スピード調整、リスタートに向けてのルールを覚えてください。注）コース図は異なりますが、SUZUKA CIRCUIT でのRMCシリーズでも導入されます

ニュートラリゼーション開始

各ポストでデジタルイエローフラッグ点滅と SLOW ボードが提示されます



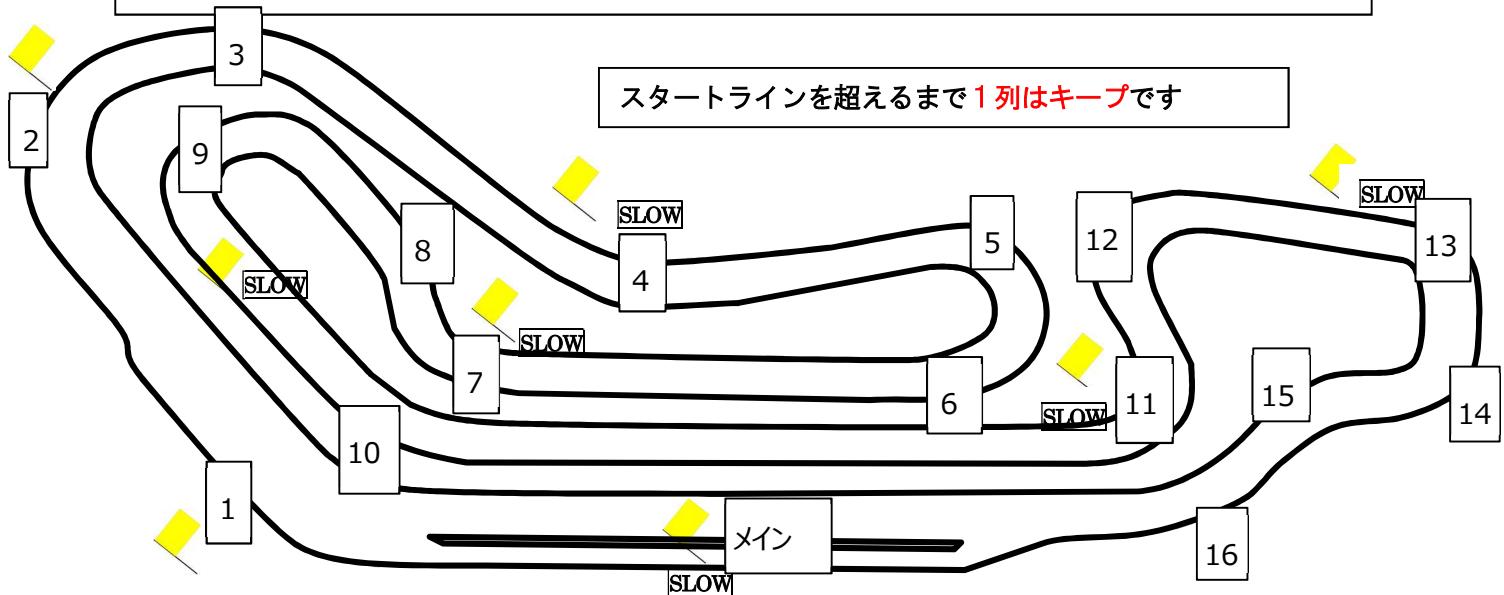
□ 1、開始した時点でのトップのカートを先頭に、1列の隊列でフォーメーション走行します。 追い越しは禁止となります！

加速出来ないカート等が前方にいる場合は追い抜くことが出来ます。対象ドライバーはドライバーサインを出し、後続のカートを先に行かせるようにしてください。フォーメーション走行は出来るだけ間隔を詰めて走行し、1列をキープしながら走行します。この場合、ピットインは許可されますがコースに復帰する場合は競技委員の指示の元、最後尾に入り、復帰周回します。ピットインしていたカートは再スタート時、全隊列が1コーナーを過ぎるまでコースに復帰できません！

□ 2、隊列走行のスピード目安は、タコメーター 8000 r p mくらいとします。また、他車と接触しない程度のヒーティングは認められます。「注意」前後のカート位置を確認し、ギャップを空けすぎないようにします。他車との接触やスピン、追い越しはペナルティとなります。

ニュートラリゼーション解除前

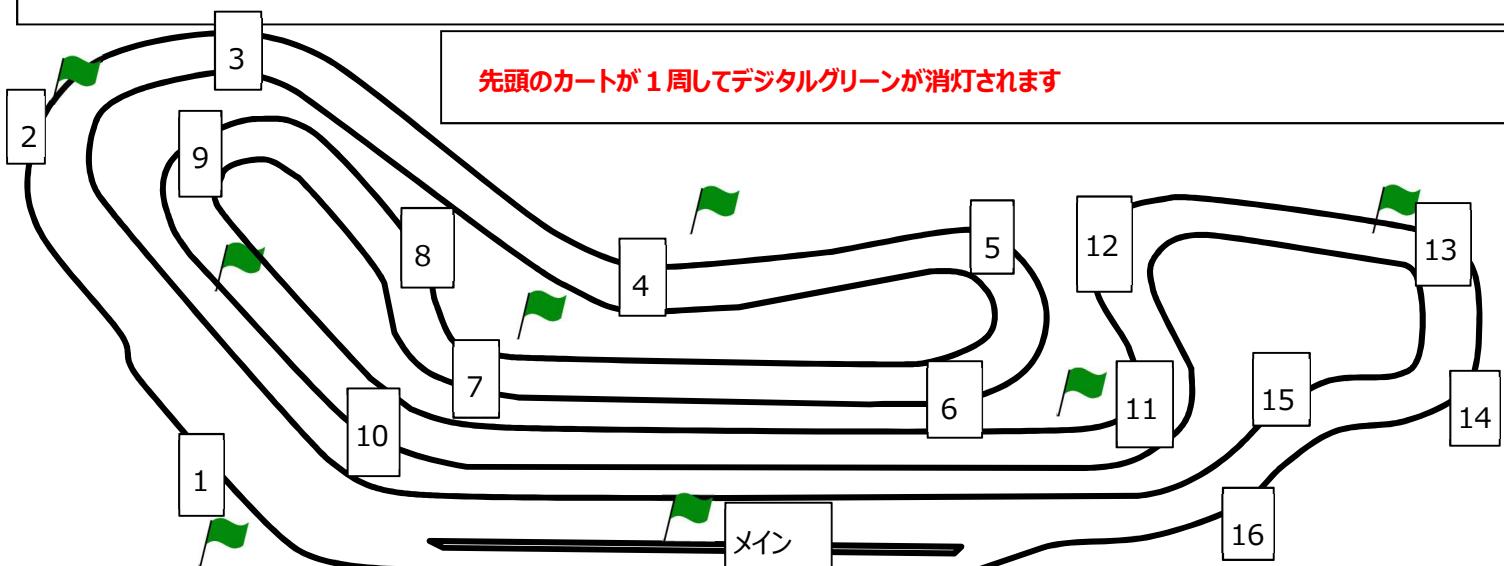
各ポストのデジタルイエローフラッグが点滅から点灯に変わります。SLOWボード提示は解除まで継続されます



- 3、点滅していたデジタルイエローフラッグが点灯になります。隊列は、一定のペースを守りながら1列フォーメーション走行を継続し、ポールはイエローラインを超えて加速ができます。後続のカートは、イエローライン手前から加速することなく、1列のまま安全なギャップを守り、コントロールラインを超えてからレース再開となります。

ニュートラリゼーション解除

各ポストのデジタルイエローフラッグ点灯がデジタルグリーンフラッグの点滅に変わります。※各ポストのSLOWボードは下げられます



- 4、スタート合図はメインポストでグリーンフラッグが振られます。※その他のポストでも、コースオフィシャルが各旗を振動や静止によってドライバー知らせることも併用します。
- 5、一旦、加速したレーシングスピードを著しく落とす行為は危険行為とみなされペナルティとなります。
- 6、また1列の隊列は、コントロールライン（グリーンフラッグ提示中）を超えるまで継続し追い抜きや並ぶ行為は出来ません。コントロールラインを超えてから競技再開となりますので、コントロールライン手前から1列隊列を乱したり、はみ出したり、追い抜きを早く始めたカートは審議対象となります。（審議の結果によってはペナルティが課せられます）